

KATSUMI HAYASHI KASUGAI

ともに考え、
ともに行動
あなたの思いに
応えます



REPORT

<http://www.ma.ccnw.ne.jp/kasugai>

発行元：林克巳後援会事務所

春日井市鳥居松町6丁目27番地3 TEL0568-81-1851



平素より皆様方の温く力強いご支援のお蔭様を持ちまして議会議員活動に邁進させて頂ける事に改めて感謝申し上げます。昨年3月に発生した東日本大震災から1年が経過しました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。現在、様々な復興復旧事業が進められていますが、未曾有の震災からの復興には長い年月が必要です。私達に今何が出来るのか、これから先どのような支援をしていけば良いのかを常に心に留め置き被災された方々に、これからも心馳せていくことが大切だと思います。



さて、春日井市では、平成24年度、東日本大震災を教訓として改めて大規模災害時の対策の推進や見直しを行った結果、災害対策事業にかかる予算を大幅に増額しました。また市民ニーズを的確に捉えながら、将来を見据えた布石を打つためJR春日井駅の再整備など新たな事業を展開していくスタートの年となります。一方で平成20年度から24年度までの中期財政計画（5年間）に基づき財務体質の改善に取り組んできた結果、一般会計実質収支の黒字を堅持しながら、市債残高の100億円以上を5年間で削減できる見込みとなり、将来負担比率の改善も大幅に進んでいます。

車座懇談会を
開催します。
詳しくは裏面を
ご覧下さい。

今後、地域主権型社会への転換が進んでいくことが予想され、私たちに最も身近な基礎自治体である春日井市の担う役割は益々重要となっていきます。今後もこれまでの経験を活かし初心を忘れることなく今以上に市民の負託に応えられるよう市議会議員としての責務を精一杯果たしてまいりますので、ご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

パスポート申請交付窓口が開設します



春日井市民のパスポート申請件数は、年間で約1万1,000件ありますが、これまでは名古屋駅前の愛知県旅券センターまで出向き申請手続きを行って来ました。春日井市では愛知県からパスポート申請交付の権限移譲を受け市役所1階の市民課窓口にパスポート申請交付窓口を新設することになりました。

窓口開設日は本年、4月2日から対象者は春日井市に住居登録がある人に限ります。開設時間は、申請及び交付は月曜日から金曜日までは午前8時30分から午後5時まで、交付のみ第3日曜日を除く日曜日の午前8時30分から正午まで午後1時から午後5時までです。名古屋駅前の旅券センターまでに要する往復時間交通費などの負担が軽減できパスポート交付に必要な書類関係も本市窓口にてワンストップで取得できることになり、より利便性の高い市民サービスを提供することが出来るようになります。

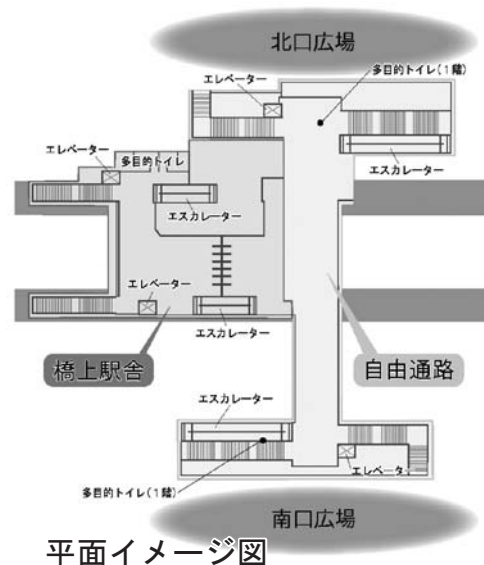


JR春日井駅自由通路及び橋上駅舎化の整備について

長年の懸案であり、市民の皆様からのご要望が多かったJR春日井駅の再整備の内容が決まりました。このJR春日井駅は昭和二年に地元の皆様のご尽力による請願駅として開業（当時は鳥居松駅、昭和21年春日井駅に改称）以来、長きにわたり、春日井市の表玄関として交通結節点の要所として市民の足を支えてきました。

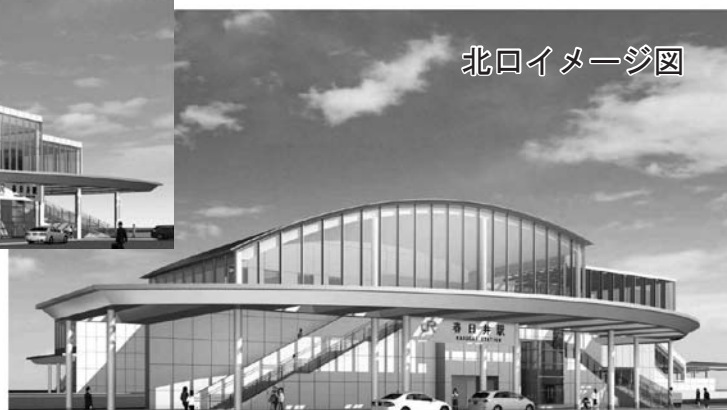
この度、駅舎の老朽化やバリアフリー対策、そして南北地域間交通の円滑化などの課題を解消するため自由通路や橋上駅舎等の整備工事に対してJR東海との間に協定金額52億4055万円余で工事協定が締結されました。主な内容は仮駅舎等の整備に約11億円、自由通路の整備に約23億円、橋上駅舎の整備に約19億円です。なお協定金額の1/3は国庫補助金、残り2/3は建設地方債と一般財源を予定しています。

供用開始は平成27年度末、平成29年度末にはすべての工事が完了する計画です。



主な特徴は下記のとおりです。

- ◎都市交流拠点、本市の表玄関にふさわしいシンボル性のあるデザインを採用します。
- ◎自由通路と駅前広場の間に吹き抜けやひさしを設け、周辺の空間を一体化させます。
- ◎エレベーター・エスカレーターや多目的トイレを設置してバリアフリー化するとともに、障がい者の方にも使いやすいユニバーサルデザインを取入れた自由通路、駅舎にします。
- ◎省資源化に配慮した太陽光発電と遮熱・採光による節電効果を併せ持つシースルー太陽光パネルを設置して、環境にやさしい空間をつくります。



平成24年度に実施する主な災害対策事業について

昨年9月の台風による大雨に伴い、庄内川、八田川、地蔵川の水位が短期間に上昇し八田川の越水や、内水氾濫による被害も多く発生しており、市域の広範囲で被害が出ました。

また東日本大震災を教訓として改めて大規模災害時の対策の推進や見直しを行った結果、災害対策事業にかかる予算を約31億5千万円計上しました。

主な内容は下記のとおりです。

- JR高蔵寺駅北側に雨水管を整備し地下通路への雨水流入を防ぐ対策を行います。
- JR高蔵寺駅北東部のニュータウン地区から流出する雨水を抑制するため、かんがい用ため池の改良工事を行い雨水調整機能の強化を図ります。
- 市内の下流に位置する勝川地区では、内水氾濫や越水に備えるため地下調整池を勝川公園に整備します。
- 水害の心配が絶えない地域を中心に雨水幹線や排水路の整備、可搬式エンジンポンプの配備をします。
- 災害発生時の対応を強化するため防災広報車両4台を配備し避難所備蓄資材の充実を図ります。
- 保育園児の保護者に対して緊急メールを同時に一斉配信するシステムを導入します。
- 震災対策として公共施設や橋梁の耐震補強を推進していきます。

市民の大切な財産を守ることは行政の重要な役割です。浸水対策については、昨年と同様の被害を出来る限り食い止めるための整備を行います。

また大規模の震災が発生した際、被災を出来るかぎり回避する様々な取組みが平成24年度に計画されています。



藤山台地区の小学校統合について

春日井市における児童生徒数は昭和57年度の43,905人をピークに、平成23年度には27,323人とピーク時の62.2%まで減少しています。

その結果、学年で1学級しか編成できない学校の小規模化が進んでいる地域がある一方で区画整理等によって児童生徒数が増加し学校の規模が拡大している地域があるなど、地域間で大きな格差が生じています。

そこで小中学校の適正規模等検討委員会が設置され、まずは過小規模校の解消を急ぐ必要があるとの提言を受けた結果、藤山台小、藤山台東小、西藤山台小の3校統合が計画されました。現在は3校統合を前提に来年4月の藤山台小と藤山台東小の2校統合に向けた準備を保護者の方々と進めています。将来は新築校舎を地区の中心地にあたる藤山台小跡地に新設する計画で、この計画案は1月の定例教育委員会で承認を得た後、三校のPTA役員には報告し一般の保護者にも説明会を開催しています。

春日井市の人口は平成29年度以降、人口減少に転じる見込みとなっているため児童生徒数も同様に減少していきます。

次代を担う子どもたちが、より良い教育環境で学校生活を享受してもらうためには学校の統合や通学区域を見直して小規模校を解消して春日井市内全域の学校規模の適正化を進めていくことが必要だと思えます。



車座懇談会開催のご案内

春日井市政報告と意見交換を二つの柱として地域や市政全般の問題や課題等、膝を突き合わせて自由に意見を交し合えるような座談会にしていきたいとの思いから平成15年に初当選して以来、毎年開催させて頂いています。毎回、ご多忙の中、多くの皆様にご参集頂き様々なご意見ご要望そしてご指導を賜り、私自身にとってたいへん貴重な機会を与えて頂き心から感謝致しております。

今年は、下記の日程で開催させていただきますので是非ともご参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

4月16日(月)	19時30分より	鳥居松上ノ町公会堂
4月17日(火)	19時00分より	乙輪町石黒様宅
4月18日(水)	19時30分より	浅山集会所
4月19日(木)	19時30分より	関田公民館
4月20日(金)	19時30分より	春見公民館
4月21日(土)	19時30分より	鳥居松町割公民館
4月25日(水)	19時00分より	みずほ会館
4月27日(金)	19時00分より	ことぶき公民館



昨年開催した
車座懇談会の風景



秋の後援会 親睦旅行のご報告



皆様と親睦を深めるため「後援会親睦旅行」を昨年11月に開催させて頂きました。当日は京都御所の秋季一般公開期間中だったおかげで通常の参観では公開されていない京都御所内の貴重な建物や庭園を見学することが出来ました。

昼食は、比叡山麓に広がる田園地帯の大原里にたたずむ優美な三千院の石段前にある老舗の料理旅館魚山園にて京料理をご堪能頂きその後、三千院等の散策や土井志ば漬本舗、井筒屋八ツ橋本舗にてお買い物を楽しんで頂きました。

今年の秋頃にも親睦旅行を開催する予定です。この会報にてご案内させていただきますので今回残念ながらご参加できなかった皆様もご都合がつかましたら是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。

